

震災踏まえた対策講じよ 港支部

【東京】港支部（樋口恵一支部長）は18日、新年会を開いた。2部構成とし、第1部では講演会を開催。講師に港区防災危機管理室の遠井基樹防災課長を招き、東日本大震災を踏まえ

た防災対策基本条例に基づき、東日本大震災を踏まえた防災対策基本条例に基づく区の取り組みを紹介。

樋口支部長は、「震災やタイの洪水など自然災害の発生を受け、荷主が物流企業に対し、どういった対策をしているかヒアリングを

物流ニッポン

2012年
1月26日
6面

始めた。『何もしていない』では済まない。まずは足元を見つめるため、港区がどんな施策を進めているか知る必要がある」と説明。『いざという時は、スマートな対応が求められる。そのためには、企業のトップがやる気にならないといけない。100点満点の必要はないが、何か取



り組むべき」と防災対策の重要性を強調した。遠井氏は、資料や映像を基に区の取り組みを説明。とくに帰宅困難者対策について「昨年の震災では、避難所などでトラブルが発生した。今後はルール作りが

防災対策の重要性を訴える樋口支部長

必要。絆をテーマに、様々な対策を講じたい」と意欲を示した。

また、第2部の新年会には、80人が出席。本部の長井純一副会長ほか来賓も多数訪れた。

（山上 隼人）